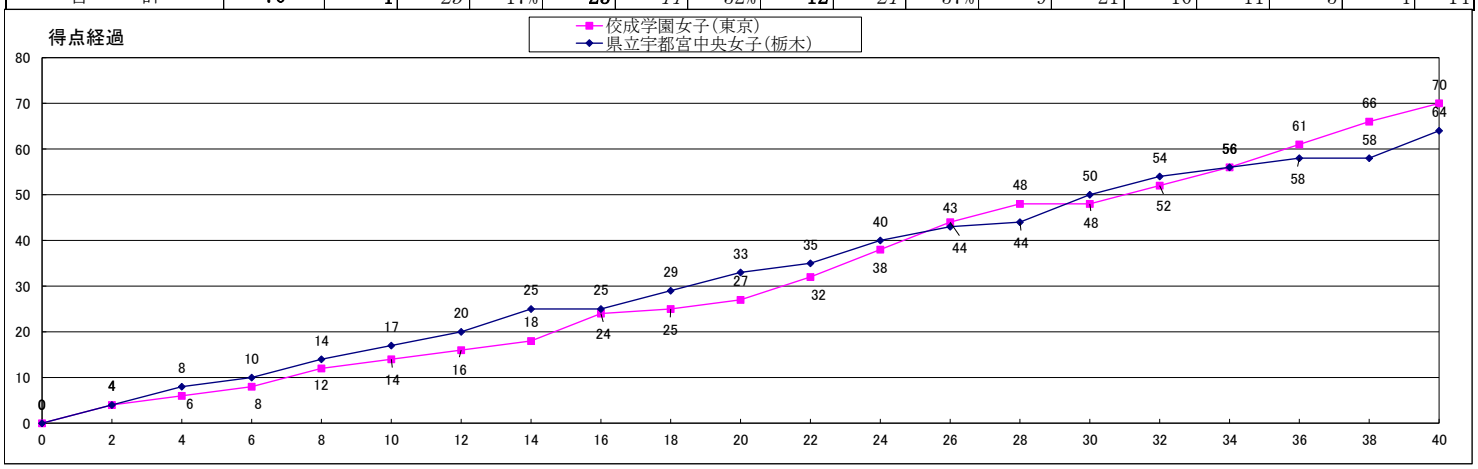
試合No.	D5	大会名	平成30年度　関東高等学校女子バスケットボール大会　兼　第72回関東高等学校女子バスケットボール選手権大会						
		期　日	平成30年 6月 9日(土)		会　場		とどろきアリーナ		
女子2回戦		主　審	菊池　真吾	副　審	安藤　俊明・中島　孝博				
		チーム名		1P	2P	3P	4P	延長	延長	合　計
		県立宇都宮中央女子(栃木)		17	16	17	14			64
		佼成学園女子(東京)		14	13	21	22			70

県立宇都宮中央女子(栃木)

氏　名	スターター	NO	得点	3P 成功	3P 試投	3P AVG.	2P 成功	2P 試投	2P AVG.	フリースロー 成功	フリースロー 試投	フリースロー AVG.	リバウンド オフェンス	リバウンド ディフェンス	A	ST	BS	TO	F
黒川　莉那 (CAP)	*	4	4	0	1	0%	1	4	25%	2	2	100%	0	4	0	0	0	0	2
稲葉　美里	*	5	6	0	7	0%	1	7	14%	4	4	100%	0	5	2	0	0	1	2
菅谷　夏海	*	6	13	0	0		6	8	75%	1	2	50%	2	4	3	0	1	0	2
川田　佳那子	*	7	16	3	5	60%	2	4	50%	3	4	75%	0	1	0	1	0	0	0
北　野乃葉		8	3	1	4	25%	0	1	0%	0	0		0	0	2	1	0	0	1
内村　日南		9	2	0	0		1	1	100%	0	0		0	2	0	1	1	2	0
山口　香織		10																	
手塚　若奈		11																	
飯島　歩香		12																	
加藤　友季子		13																	
菊田　侑里	*	14	16	1	1	100%	6	11	55%	1	1	100%	0	3	2	1	0	0	5
永田　圭純		15																	
石川　リン		16																	
山下　桜子		17	4	0	1	0%	2	3	67%	0	0		0	0	0	0	0	0	1
横島　楓華		18																	
コーチ　下島　健一																			
合計			64	5	19	26%	19	39	49%	11	13	85%	2	19	9	4	2	3	13

佼成学園女子(東京)

氏　名	スターター	NO	得点	3P 成功	3P 試投	3P AVG.	2P 成功	2P 試投	2P AVG.	フリースロー 成功	フリースロー 試投	フリースロー AVG.	リバウンド オフェンス	リバウンド ディフェンス	A	ST	BS	TO	F
網谷　萌夏 (CAP)	*	4	1	0	1	0%	0	0		1	2	50%	0	0	1	0	0	0	3
益永　萌央		5																	
西山　郁乃	*	6	25	0	0		10	11	91%	5	7	71%	4	4	0	1	1	2	4
赤松　夏愛	*	7	19	2	15	13%	5	8	63%	3	6	50%	0	2	1	1	1	0	1
高野　祭	*	8	4	0	5	0%	2	7	29%	0	0		3	9	1	2	1	0	0
井出　仁菜		9	7	1	1	100%	2	7	29%	0	0		0	1	1	4	1	0	0
西堀　夏緒	*	10	10	1	1	100%	2	6	33%	3	6	50%	2	3	4	3	0	1	2
栗田　圭子		11	0	0	0		0	2	0%	0	0		0	0	0	0	0	0	0
佐藤レイナ		12	4	0	0		2	3	67%	0	0		0	2	2	0	1	1	4
安西　涼雲		13																	
小森　安奈		14																	
清水　芽衣		15																	
橋本　亜磨		16																	
島田　真希		17																	
川端　真白		18																	
コーチ　結城　葉月																			
合　計			70	4	23	17%	23	44	52%	12	21	57%	9	21	10	11	5	4	14



戦評

1P　両チームマンツーマンでスタート。両チームともに立ち上がりからテンポよく試合を進めて持ち味を出し、ディフェンスの粘り強さを見せているため、なかなかシュートが決まらず得点が伸びない。終盤に宇中女＃14がバスケットカウントを決めて17-14と宇中女がリードして第1P終了。

2P　ハーフコートオフェンスをしっかりとコントロールして得点に結びつける宇中女に対して、佼成はシュートを打つも得点が伸びない。しかし、佼成が粘り強いディフェンスで宇中女のミスを誘うと＃6のリバウンドシュートで1点差まで詰めると宇中女タイムアウト。佼成がフリースローで追いつくが、オフェンスをコントロールした宇中女が確実に得点を重ね、33-27宇中女リードで前半終了。

3P　先に決めたのは佼成＃9の3pts。入り方のいい佼成が＃12のジャンプシュートで追いつき、1-2-2ゾーンプレスから1-3-1ゾーンに変える。残り5分、佼成＃7がシュートを決めて43-40となったところで宇中女タイムアウト。宇中女はなんとか食い下がり、残り1分、＃6のポストプレーで逆転に成功。50-48宇中女リード

4P　僅差を争う試合展開に早く主導権をつかみたい両チーム。宇中女は＃6、＃14、佼成は＃6、＃7を中心に得点を狙い、一進一退の攻防となる。この展開から抜け出したのは佼成。＃7の速攻からの得点で63-58とリードしたところで宇中女タイムアウト。宇中女は＃7の3ptsで抵抗し、活路を見出そうとするが、最後まで集中力を切らさなかった佼成が2年連続でベスト4に進出した。